

第 3 回 人材養成検討ワークショップを実施

当会は、人材確保・養成対策事業の一環として、12 月 21 日に標記ワークショップを実施し、会員企業 34 社から人事採用担当者等約 40 名が参加した。

本ワークショップは、人材事業を取り巻く環境の変化に総合的かつ機動的視点から検討・対応するため、毎回テーマを変えながら、会員企業の人事担当者等に対して採用活動や社員教育等の人事に係る最新情報の提供や意見交換を行う場を提供し、その結果を今後の人材事業の検討材料とすることを目的としており、今回で 3 回目となる。

第 3 回ワークショップは、1987 年に当時の労働省、日経連、産業団体（造工等）などが協力し設立され、全国的なネットワークにより再就職・出向の支援事業に取り組んでいる公益財団法人産業雇用安定センターと東京労働局の助成金事業担当者を講師に招いてオンライン形式で実施した。

今回は、即戦力となる人材確保のための中途採用方策について「移動する人材をいかにして受け入れるか？—人材移動を追って」と題し、同センターで行っている中途採用支援事業の概要、地域ごとの求職者登録数の状況等が紹介された。また、東京労働局の助成金事業担当者からは、人材移動促進に向けた各種助成金として、特定求職者雇用開発助成金や産業雇用安定助成金等の説明があった。

参加者からは、「人材採用についてさまざま制度があることが理解できた。」、「活用できる助成金制度は検討していきたい」等の感想が寄せられ、成功裏に終了した。

記

1. 日時：令和 4 年 12 月 21 日（水） 14:00～16:00
2. タイトル：「移動する人材をいかにして受け入れるか？—人材移動を追って」
3. 講演者：公益財団法人産業雇用安定センター 東京事務所 副所長 古宮 善彦氏、
公益財団法人産業雇用安定センター 東京事務所 第三業務 4 グループ 参与 藤田 正一郎氏
東京労働局 職業安定部 職業対策課 助成金第一係長 今野 朋則氏
4. 講演内容：① 人材獲得方法—中途採用について
② 人材紹介機関・事業者の活用
③ 人材移動の動向—誰が、どこで、どう動いているのか？
④ 産業雇用安定センターについて—移動する人材のマッチングに果たす役割
⑤ 産業雇用安定センターの求職者登録状況
⑥ 出向による人材受入について
⑦ 人材移動促進に向けた各種助成金について
⑧ 人材移動の起点—離職者の捕捉
⑨ 質疑応答
5. 参加企業：以下 34 社（五十音順）

アイエスエスマシナリーサービスリミテッド、(株)赤阪鐵工所、いすゞ自動車エンジン販売(株)、(株)イソダメタル、川崎重工業(株)、(株)北澤電機製作所、(株)京泉工業、国際化工(株)、(株)金剛コルメット製作所、JRCS(株)、島田燈器工業(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、セムコ(株)、ターボシステムズユナイテッド(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、(株)田邊空気機械製作所、(株)帝国機械製作所、(株)寺本鉄工所、東京計器(株)、(株)浪速ポンプ製作所、新倉工業(株)、(株)N I T T A N、日本ピラー工業(株)、ヒエン電工(株)、(株)日立ニコトランスミッション、富士貿易(株)、眞鍋造機(株)、三浦工業(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、三菱重工機械システム(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)、(株)リケン、(株)YDK テクノロジーズ

以上

【事務局連絡先】

業務部 山内 (TEL: 03-3502-2041/E-mail:yamauchi.yuto@jsmea.or.jp)